

芝谷地湿原の植物⑧



サワギキョウ (キキョウ科)

サワギキョウは、日本に広く生える湿地の多年草です。

芝谷地に秋の気配を感じる8月の末ごろから咲き始め下から上へと咲き移っていきます。あざやかな紫色ですが、どこか寂しげな雰囲気をもつこの花は、湿原の美しい秋草のひとつで好きな人の多い花です。名は、沢に生えるキキョウの意味。7月ごろにはたくさんの茎を見せているのですが、花どきになっても花をつけないのが多く、わずかな花しか見られないことを寂しく思います。

文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□最近の気候の変化に、体調を壊していることも多いことと思います。広報を担当している三人もかぜをひいて大変な毎日です。それでも広報の発行日が延びるわけでもなく、鼻水をすすりながら取材や原稿書きの毎日です。皆さんも、体調には十分気をつけてください。

(ま)

□表紙の駅伝大会、私も走りました。タスキを次走者に渡した途端に倒れてしまい、周りが真っ暗闇になりました。四十近いこの歳になって、日ごろ練習もしないで、中学生など若い人たちと一緒に走るものではないとつくづく思いました。

(咲)

□新食糧法にちなんだ(?)一言。

コンビニのおにぎりって、なんで各社開け方がまちまちなんだろう。それぞれ「我が社の一番」と思っているのじゃないか。それに、パッケージに張られた値札シールは、開封する際にすこく邪魔だと思いませんか? ごはんを愛する(ゆ)

● 広報おおだて 平成7年11月16日号(N6641)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)



広報おおだては再生紙を使用しています。